

2005年公民科倫理2学期期末考査(3年1,2,3,4,5組+理系) 正解と解説

大問	問題番号	正解	正答率	配点	大問	問題番号	正解	正答率	配点
1 64.1%	Q 1	5	69	2	3 45.3%	Q26	4	7	2
	Q 2	2	49	2		Q27	3	58	2
	Q 3	4	53	2		Q28	1	66	2
	Q 4	8	71	2		Q29	1	46	3
	Q 5	3	92	2		Q30	1	28	2
	Q 6	1	93	2		Q31	1	67	2
	Q 7	4	91	2		Q32	1	66	2
	Q 8	4	51	3		Q33	1	32	2
	Q 9	1	38	2		Q34	3	32	2
	Q10	2	47	3		Q35	3	43	3
	Q11	2	58	3		Q36	2	62	2
	Q12	3	49	2		Q37	5	45	2
	Q13	4	72	2		Q38	1	37	2
2 62.3%	Q14	3	68	2	Q39	2	93	2	
	Q15	4	91	3	Q40	2	53	2	
	Q16	4	25	2	Q41	4	59	3	
	Q17	1	46	3	Q42	2	50	2	
	Q18	6	80	2	Q43	3	30	2	
	Q19	4	41	2	Q44	3	57	3	
	Q20	5	73	2	Q45	2	57	2	
	Q21	3	42	2					
	Q22	1	67	2					
	Q23	4	59	2					
	Q24	1	72	2					
	Q25	4	84	3					

平均  
57.7 点  
  
最高点  
98 点  
(2名)  
  
標準偏差  
18.3

点数	頻度	累積	2学期中間 頻度	2学期中間 頻度
95~100	5	5	0	0
90~94	6	11	9	9
85~89	10	21	6	15
80~84	9	30	11	26
75~79	13	43	6	32
70~74	12	55	14	46
65~69	11	66	7	53
60~64	18	84	20	73
55~59	16	100	17	90
50~54	23	123	26	116
45~49	22	145	16	132
40~44	21	166	31	163
35~39	10	176	14	177
30~34	9	185	12	189
0~29	11	196	6	195

得点	校内偏差値
100	73
95	70
90	68
85	65
80	62
75	59
70	57
65	54
60	51
55	49
50	46
45	43
40	40
35	38
30	35

## 解 説

## 考査全般について

今回は出題ミスなどが多くて申し訳ない。最後の考査と  
言うことで、だいが易しい問題が多かったので、ひよっと  
するとも足りなかった人もいるのでしょうか。90 点以上  
とれた人が 11 人いましたが、その一方で 30 点未満も 11  
人。成績が足りなさそうな皆さんは、3 学期の課題をしま  
りがんばってください。

## 第 1 問

## 問 1 [1]正解 5 69%

[1] ~ [4] は思想家の名前を問う問題。「唯名論」と  
「信仰と知識の分離」がキーワードとなる 14 世紀のスコ  
ラ哲学者はウィリアム・オッカムです。オックスフォード  
大学で神学を学びますが、清貧論争で教皇と対立して異端  
の嫌疑を受けたりします。 のマイスターエックハルトと  
同時代人なのですがやはり彼も異端の疑いをかけられ、ア  
ヴィンヨンでの異端審問に召還されたときに二人は出会  
ったことがあるようです。

## [2]正解 2 49%

無限宇宙論を説いたイタリア人ドミニコ会元修道士と  
いえばジョルダノ・ブルーノですね。フィチーノやピコ  
などフィレンツェ人文主義の影響を強く受けていました  
が、異端として火炙りになった宗教家です。 のウィクリ  
フは宗教改革の先駆者ですが、彼の墓が掘り起こされて遺  
体が火炙りになったのはコンスタンツ公会議の時の時で  
したね。ところで、ウィクリフの英訳聖書の序文にこんな  
言葉があったことを知っていましたか？ "This Bible is  
for the government of the people, by the people, and for  
the people" どこかで聞いたことがあるでしょう？

## [3]正解 4 53%

約 2 割が のホッブズを選んでいましたが、『君主論』  
と『リヴァイアサン』のイメージは似ているかもしれませ  
んが、マキャベリがルターと同時代人（16 世紀）で、ホ  
ッブズはデカルトと同時代人（17 世紀）ですよ。目的の  
ために手段を選ばないマキャベリズムは暗殺や謀略で教  
皇領を支配したチェーザレ・ボルジアという政治家を理想  
的な君主としています。

## [4]正解 8 71%

キーワードは「近代自然法の父」だけでしたが、そこそ  
この正答率でした。グロティウスは「オランダの奇跡」と  
いわれた神童で、16 歳で弁護士となります。『戦争と平和  
の法』では正当な戦争方法や戦争終結の方法などを論じて  
います。彼の意図は、当時行われていた宗教戦争の悲惨さ  
を緩和するために、人間の理性に基づいた普遍人類法の存

在を証明することにあります。しっかり押さえておきま  
しょう。

## 問 2 [5]正解 3 92%

簡単な問題。ルターが 1517 年、ウィッテンベルク城内  
の教会の扉に貼ったといわれる提題書の名前を問いまし  
た。『九十五か条の論題』が正答ですが、『900 の論題』は  
ピコ・デラ・ミランドラが 1487 年に開催する予定だった  
公開討論会で論じようとしたテーマです。その討論会は教  
皇庁から異端視されて中止となったのですが、そのときに  
予定されていた演説原稿が『人間の尊厳について』です  
ね。『キリスト者の自由』はルターの著作ですが、1920 年  
に出版されたものです。

## 問 3 [6]正解 1 93%

これも簡単な問題。ルターの信仰義認説と聖書主義を問  
うシンプルな問題でした。 の典礼とはミサなどの儀礼  
を指します。

## 問 4 [7]正解 4 91%

これもまたサーブス問題。ルネサンスは文芸復興とも訳さ  
れます。もともとフランス語で「再び生まれる」という意  
味ですが、そこにはイエスキリストの「復活」という意味  
も含まれているともいわれます。

## 問 5 [8]正解 4 51%

の「人間の尊厳」と「自由意志」はピコ思想のキー  
ワードです。資料集の p.188 にはペトラルカの説明が載っ  
ていますが、近代登山の先駆者の件や『カンツォニエーレ』  
の件が紹介されています。キリスト教と古代ローマ文化の  
調和については、プリントに書いたとおり、ペトラルカが  
キケロとアウグスティヌスを愛読したというところがボ  
イントとなります。

## 問 6 [9]正解 1 38%

が正解です。ヒューマニストエラスムスは『自由意志  
論』を書き、ルターはそれに対抗して『奴隷意志論』を書  
きました。ルターの主張は人間の自由意志は現実には恩寵  
を受けつけない奴隷意志であるということでしたが、エラ  
スムスは、自由とは人間がその能力によって自らを救いに  
導くあらゆるものに専念させることが出来もし、救いから  
遠ざけも出来る力であると考えました。 は『ユートピア』  
のトマス・モア、 はルター、 は『デカメロン』のボツ  
カチオですね。

## 問 7 [10]正解 2 47%

ピコ・デラ・ミランドラについては、山川出版社の用語  
集にも詳しく掲載されています。以下引用しますと、「イ  
タリアのルネサンス期の人文主義者。ミランドラの貴族の  
出身で、諸国を遍歴してユダヤやイスラムの哲学を学び、  
ユダヤ教の神秘主義的な教説であるカバラに傾倒した。あ  
らゆる思想・宗教は同じ真理の表現であると考え、それら  
を一つに融合しようとしたが、ローマ教皇から破門されて  
フランスに逃れた。やがてロレンツォ＝デ＝メディチの庇  
護のもとにフィレンツェに住み、プラトン＝アカデミアで

フィチーノとともに神秘主義的なプラトン主義の哲学を研究した。人間が自由意志によって自分の進むべき道を選択し、自分自身を形成するところに人間の尊厳の根拠を見いだした。31歳で死んだ。主著『人間の尊厳について』ということで、「全ての宗教的信仰を否定した」という点などが間違いです。

問8 [11]正解 2 58%

申し訳ない。ここも問題番号の振り間違いがありましたm(\_ \_)m。この問題は知識とともに文脈を読む力を問う問題としてつくりました。この文の中で目をつけるべき所は、ルネサンス文化が「個人主義を最も強力に発展」させたということと、それが「人格の認識」を多面的にしたとされている点です。それが古典文学の影響を受けているということも書かれています。この辺から、ルネサンスの文化が何を発見したかという、「人間」であることを読み取ってください。ブルクハルトは著書の中で、「世界と人間の発見」を述べています。

問9 [12]正解 3 49%

は万人司祭説、は福音主義（聖書主義）、は福音書の中の「山上の垂訓」と呼ばれるイエスの言葉です。資料集 p.57 参照のこと。は『キリスト者の自由』の有名なフレーズです。知ってますね。

問10 [13]正解 4 72%

予定説についてはカルヴァンだけの説ではなく、ルターの奴隷意志論の中にも見られるものなのですが、特にカルヴァンとカルヴァン派の教説は救いにいたる者と滅びにいたる者がともに神によって選ばれているという二重予定説とも言われます。ポイントはそれは人間の自由意志や善行によって選ばれるのではなく、神の恩寵によるということです。は決定論といいますが、スピノザ等が主張した古典物理学的世界観といえるでしょう。

## 第2問

問1 [14]正解 3 68%

信仰と理性の調和を説いた13世紀のスコラ哲学者はのトマス・アクィナスです。この中でメジャーなのはアウグスティヌスですが、彼は4~5世紀の教父ですから時代が全然違いますね。のアンセルムスはスコラ哲学の父といわれる11~12世紀のスコラ哲学者。のニコラウス・クザーヌスは15世紀の哲学者。ブルーノやライプニッツに大きな影響を与えたドイツの神秘主義思想家です。20世紀ドイツの哲学者カッシーラはルネサンス哲学の出発点としてクザーヌスをあげています。

問2 [15]正解 4 91%

この問題が9割以上の正答だったのはうれしいことです。自然科学思想の歴史については誤解も多いのですが、概念をしっかりと理解した上で、文脈を正しく読解できていたようです。

問3 [16]正解 4 25%

パスカルは『パンセ』という断片的なノートにさまざまな思想を残しました。を選んだ人が46%いたのですが、この説明の誤っているところは「幾何学の精神で自然を支配することを説いた」という点です。パスカルは幾何学の精神とともに繊細の精神を重視しましたが、フランシス・ベーコンのように自然の支配という発想は持ちませんでした。の「気晴らし」は『パンセ』の中にも登場しますが、「気晴らし - - 人間は死・悲惨・無知を癒すことができなかつたので、自分を幸福にするためにそれらをあえて考えないように工夫した」というようにそれを肯定的に捉えてはいません。用語集持っている人はp.168参照のこと。

の道徳性が行為の過剰と不足の中庸にあると考えた思想家は誰ですか？ はい、そうです。アリストテレスですね。については、資料集 p.193 のデカルト批判をみると分かるのですが、それに加えて、授業では触れていない「愛の秩序」という用語も加えてみました。これは、新課程から新しく東京書籍の教科書に加えられた項目なのですが、以下引用しましょう。「パスカルはこの現実には三つの秩序からなっていると考える。身体（物体）の秩序、理性の秩序、心情の秩序。それぞれは無限の距離によってへだたれている。権力、富を追究する人は第一の秩序に、学問に励む人は第二の秩序に、そして学問に励む人は第二の秩序に、そして信仰と愛に生きる人は第三の秩序に属する。」

問4 [17]正解 1 46%

対話型の設問は最近ご無沙汰ですので、そろそろこのタイプが出題されるかもしれません。思想の概念の理解と読解力が重要になります。まずは「劇場のイドラ」とは何か。それは、伝統や権威を鵜呑みにしてしまう偏見でしたね。とすると、伝統や権威を鵜呑みにしているのは誰でしょう。はっきりしているのは、兄は「倫理の教科書や高校の先生」の権威を鵜呑みにしていますよね。問題は、お父さんもプラトン説を支持しているようですが、これは劇場のイドラにとらわれているのでしょうか。お母さんはお父さんの理想主義を性格のせいと言っていますので、伝統と権威によるものではなさそうですね。ということで、正解は。

問5 [18]正解 6 80%

[19]正解 4 41%

[20]正解 5 73%

[21]正解 3 42%

コペルニクスが一番正答率が高かったですね。正答以外では、がハーベイ、がガリレイの弟子のトリチェリです。

問6 [22]正解 1 67%

啓蒙主義の歴史観といえばコンドルセの歴史観でしたね。歴史が人類の進歩・発展であるというところを理解していれば、が正解であることが分かります。

問7 [23]正解 4 59%

それぞれ著者をあげます。『ペルシャ人の手紙』はモンテスキュー。『自然の体系』はドルバックの唯物論的

著作。『人間機械論』は医師ラ・メトリー。『哲学書簡』がヴォルテールでした。

問 8 [24]正解 1 72%

ディドロといえば『百科全書』の編纂と無神論がキーワードです。正解の 以外は、 が教育の権力からの自由を唱えたコンドルセ。行政的権力からの自由ということは、文部科学省の権力からも自由であるべきという発想だから、いかにもフランスの急進主義的ですね。 は決め手に欠ける選択肢ですが、もう一人の編集者グランベールのつもりでした。 は再登場、『人間機械論』のラ・メトリーです。

問 9 [25]正解 4 84%

この手の趣旨問題はセンター試験に必ず出題され、しかも配点は高いのです。だいたい最終段落を読み込むと解けることが多いのですが、今回もそうですね。宗教と科学は簡単に分離できないという主張からすると、 が消えます。さらに、 のように単に宗教が大切だというような主張は文中にはありません。また、第 3 段落の意義を生かすなら、ではなく が適切ですね。

### 第 3 問

問 1 [26]正解 4 7%

今回の最低正答率問題でした。ちょっとリード文がわかりにくかったかもしれません。申し訳ない。しかし、デカルトが思惟する自我の明証性を明らかにした後最初に証明しようとしたのは神の存在証明だったことは、授業中にお話ししたはず。神の完全性と善性が、物体と精神という二つの実体の存在を支えるものであるとデカルトは考えました。したがって答えは の神。

[27]正解 3 58%

この問題も少し指示関係があやしかったですね。「その主著」はデカルトではなくスピノザを指していますから、答えは『エチカ』です。一応確認しておきますと、『单子論』はライプニッツ。 はデカルトの『省察』。 はニュートンの『プリンキピア』正式には『自然哲学の数学的原理』です。

[28]正解 1 66%

カントはヒュームの著作を読んで、独断の眠りをさまされたと言っています。精神の連続性すら証明できないとする経験論のヒュームの思想は懐疑論です。さらに、大陸合理論は独断論に陥りました。

問 2 [29]正解 1 46%

デカルトの「われ思うゆえにわれあり」はラテン語では cogito, ergo sum . といいますが、全てを疑ったとしても疑っている自我の精神の存在は疑いえないということであらわします。 のように精神と物体が一体となった状態は西田幾多郎の純粹経験の説明ですのでこれが誤りです。

問 3 [30]正解 1 28%

このデカルトの問題は正答率が低めです。デカルトの道

徳論には 2 つ重要事項があって、その一つは精神が身体をコントロールすべきであるという高邁の徳。もう一つが、たとえ方法的懐疑の最中であつたとしても、仮の道徳(暫定道徳)に従うべきであるということです。したがって、何も信頼できないときであっても の暫定道徳に従うべきという答えになります。 の習性的徳はアリストテレスの徳です。

問 4 [31]正解 1 67%

スピノザの汎神論をあらわす言葉が「神即自然」です。 が正解ですが、 は観念論の説明。 はブルーノの無限宇宙論。 はアニミズムですね。

問 5 [32]正解 1 66%

ライプニッツの予定調和説とは、現実的世界の創造に先立つ神の可能的世界の構想のうちに、諸実体間の調和があらかじめ定められており、それにもとづいて創造された世界の事物の間に予定された調和の関係が実現されることを指します。 の救済予定説はカルヴァンの思想。 の機会原因論は全ての究極的な原因は神であるという心身問題を捉える合理論の考え方。 の心身平行論はスピノザの心身問題への解答ですが、これも一種の機会原因論です。

問 6 [33]正解 1 32%

フランシス・ベーコンの著作ではないのは『人間本性論』。ヒュームの著作で、『人性論』とも訳されます。

問 7 [34]正解 3 32%

これもまた、フランシス・ベーコンの思想の中にヒュームの思想が混じっています。 の「自我が知覚の束である」とする説がヒュームのものです。 を選んだ人が 32% いましたが、これは単純枚挙ではない新しい帰納法を唱えたベーコンの説に他なりません。

問 8 [35]正解 3 43%

これは結構難問です。 はロックの経験論。 は永遠の相の下に世界を見るスピノザの思想。 が『物体論』のホッブズの思想。 は自由意志論に加えてカントの思想も含まれています。

問 9 [36]正解 2 62%

[37]正解 5 45%

[38]正解 1 37%

は因果律を否定したヒューム。 タブラ・ラサはロック。 コギトの哲学はデカルト。 はカントの思想の説明です。 は「存在するとは知覚することである」のパークリー。 は自然支配のフランシス・ベーコンの思想です。

### 第 4 問

問 1 [39]正解 2 93%

簡単な選択肢。ジョン・ロックが『統治論』のなかで批判したのが絶対王政を理論づけるフィルマーの王権神授説でした。

問 2 [40]正解 2 53%

自然状態を自然法に基づいて所有権としての自然権が

危険にさらされつつも守られる状態とらえたのは、ジョン・ロックです。

問3 [41]正解 4 59%

同様に、人間の自然権を無制限な自己保存と考えたのはホブズでした。ちなみに、ロールズとは現代に社会契約論的な「公正としての正義」を唱えた思想家です。

問4 [42]正解 2 50%

は階級闘争を主張するマルクスの思想。が『リヴァイアサン』なのですが、いかにもあの挿絵を思い出しませんか？人間で構成された巨大な国王の姿をしたリヴァイアサンです。は「一般意志」で分かるとおりルソーの思想です。モライオンと狐を君主のモデルとしたマキャベリです。

問5 [43]正解 3 30%

これはセンター試験の過去問としてはかなり難しい方でしょう。ロックというと抵抗権を連想しますが、ここでは立法と執行（行政）と連合（外交）の三つの権力を選びましょう。

問6 [44]正解 3 57%

これもセンターの難問です。の「人間は自由な者として生まれたが、至る所で鎖につながれている」という言葉がルソーの『社会契約論』の中の言葉であることを知らないと、を選びがちですがこれは自己保存を強調するホブズの思想ですね。

問7 [45]正解 2 57%

これはサービス問題のつもりだったのですが...資料集 p.212 のエミールの教育を読まなかったかな？「第二の誕生」といえば、エミールですぞ。

以上！